

株主・投資家とのかかわり

基本的な考え方

理想科学は、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションの充実を図るとともに、適時・適切な情報開示を行うため、「情報開示方針」を定めています。

コミュニケーションの充実

株主の皆様は株主総会における議案を十分に審議いただくための時間を確保するため、株主総会実施日の3週間前に招集通知を送付することを心がけ、議決権行使の円滑化に努めています。また、より多くの株主の方にご出席いただけるよう、集中日を回避し適切な日を設定するとともに、交通の便が良い会場を選定しています。

株主総会では、グラフや写真を投影して説明を行うなど、事業活動のポイントをわかりやすくお伝えするよう努めています。また、株主の皆様には、事業の状況をまとめた報告書として「株主通信」を年2回送付しています。



株主総会

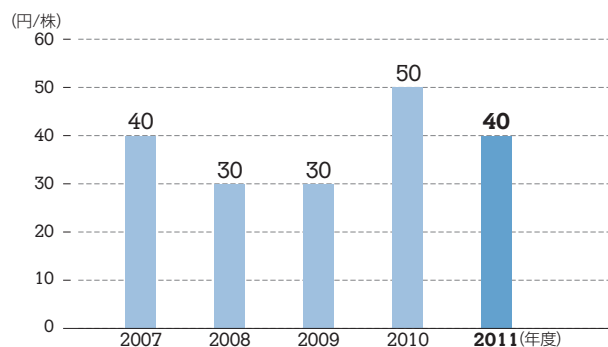
適時・適切な情報開示を实践

適時・適切、かつ積極的な情報開示は企業の重要な責務であるという認識のもと、決算短信や決算説明会資料、個人投資家の皆様に向けた事業報告書などの財務情報や株式情報を、Webサイトで開示しています。また、毎年中間決算、本決算発表後にアナリスト・機関投資家の皆様向けの説明会を実施しています。

安定配当の継続

株主の皆様に対する利益還元について、「企業体質を強化しつつ業績に裏づけられた成果の配分を行う」という基本方針のもと、安定配当の継続に努めています。

一株当たり配当金推移



東日本大震災時の対応

震災発生直後の情報伝達を支えた「オルフィス」「リソグラフ」

2011年3月に発生した東日本大震災では、東北地方の当社のお客様の多くが被災されました。そうした中、地元のガス局では、ガス漏れの危険を告知する文書をオルフィスで印刷。また、地域の新聞店では、支援物資の配給や交通状況などの情報を避難所の皆さんに知らせる自主発行の新聞をリソグラフで印刷して、毎日配り続けていらっしゃいました。こうしたお客様の活動を支えるため、当社社員は、急遽買い集めた自転車で用紙やインクを配り、震災後の不安な皆様に情報を伝える印刷業務の支援に努めました。



自転車で業務を続ける社員